

事務事業名	はが路ふれあいマラソン開催企画事業				担当	教育委員会 スポーツ振興課 指導係		
政策名	1	「人づくり」～豊かなこころアップ！～			☒ 総重（総合計画重点事業） ☐ 戦拡（総合戦略拡充事業）	☐ 総新（総合計画新規事業） ☐ 戦新（総合戦略新規事業）		
施策名	6	生涯スポーツ・レクリエーションの振興						
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 毎年度実施（開始年度 平成26 年度～） ☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	法令外負担金							
予算科目	1.一般会計	10.教育費	5保健体育費	1保健体育総費				
予算科目								
予算科目								
事業概要	平成26年（2014年）に、2020年東京オリンピックに向けた行動の一環として、地域住民のスポーツ参加意欲の向上と芳賀都市のPRと活性化に寄与する事業として発足した。「はが路ふれあいマラソン」は、真岡市の井頭公園をスタートし、芳賀都市を周回してゴールするコースで、42.195kmのフルマラソンである。 例年、12月第3日曜日に開催。 実行委員会 35名 参加費 9,000円、参加募集 2,500名（地元300名、一般2,200名）（～R1:6,000円、R2～R5:7,000円） 事務局 芳賀広域（2年毎持回り） 当番市から職員派遣							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）					④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
5年度実績 実行委員会の開催 第10回はが路ふれあいマラソン 令和5年12月17日 大会実施運営の協力、手配（コース交通誘導、運営協力など） 6年度計画 前年度と同様 第11回はが路ふれあいマラソン 令和6年12月15日開催予定					名称	単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)
					ア 負担金額	千円	800	200	100	2,000	2,000
					イ 実行委員会開催数	回	3	3	3	3	3
					ウ マラソン参加者数	人	0	0	0	2,488	2,500
					エ						
					オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民、市民以外のマラソン愛好家					⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
					名称	単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)
					ア 市民数	人	78,874	78,592	77,635	77,578	76,972
					イ						
					ウ						
					エ						
					オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） マラソンを通して市民の健康づくりや参加者とのふれあいの場とする。 郡内1市4町の連携と全国へのPRを図る。 市民ひとり1スポーツの推進と生涯スポーツの振興を図る。					⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
					名称	単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)
					ア 市民参加者数	人	0	0	0	127	130
					イ 県内の参加者数	人	0	0	0	989	1,000
					ウ 県外の参加者数	人	0	0	0	1,499	1,500
					エ						
					オ						
(2) 総事業費の推移					単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	0	0		
			一般財源	千円	800	200	100	2,000	2,000		
	事業費計（A）			千円	800	200	100	2,000	2,000		

2. 1 次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) マラソンの参加は、市民ひとり1 スポーツの推進と生涯スポーツの振興が進むことであり、市民の健康づくりや体力づくりの観点から結び付く。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 市民の参加と郡内地域住民、郡外のマラソン愛好者とのふれあいの場の提供、そして真岡市のPRの場となっており、生涯スポーツの振興を図るための事業として実施している事業に参画しているため妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	☒ 対象・意図を見直す必要はない ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある (評価理由) 市民、市民以外のマラソン愛好者などを対象とし、市民の健康づくりや地域住民とのふれあいの場としての事業に参画しているため適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地はない ☐ 向上余地がある (評価理由) スポーツ振興と市のPRを行っている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	☐ 類似事業と統合・連携ができる(類似の事務事業名：) ☐ 類似事業と統合・連携できない(類似の事務事業名：) ☒ 類似事業はない (評価理由) フルマラソンであり、類似事業はない。
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある (評価理由) 事業費は、決められた負担金のため、削減余地はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) ☐ 廃止 ☐ 見直し (☐ : 目的妥当性 ☐ : 有効性 ☐ : 効率性) ☐ 統合 ☒ 継続 郡内1市4町の連携したフルマラソン大会であり、事業費は決められた負担金である。	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(2) 課題、課題の克服の方向性 高齢化や人材不足による走路員や運営スタッフの確保に苦慮している。 道路事情の変化に伴い、徹底した安全確保や交通渋滞の対策が不可欠となっている。																						

4. 事務事業の2 次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1 次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足(説明責任不充分) ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(2) 2 次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(3) 2 次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2 次評価会議で指摘された事項																						